

合格めざし講習会開催

2日間で受検予定の119人が受講

関西鉄筋工業協同組合は11月20日と21日の二日間、東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校（テクノセンター東大阪）で、平成22年度後期鉄筋施工技能検定試験の受検者を対象にした講習会を開催しました。二日間で1級受検予定の組立作業（実技と学科）64人と施工図作成作業55人の合計119人が受講し、本番さながらの真剣な表情で講師の指導を受けていました。

20日の開講式では、組合の技術委員長でもある戸田裕雄副理事長が挨拶し「建物を造り上げていくには技能士の存在が不可欠であり、資格を持たなければ現場に入れない状況になってきている。資格取得に挑戦する皆さんは鉄筋業界の未来を担う大事な宝だ。講師は厳しく指導していくが、皆さんが本試験で合格するよう応援している」と激励しました。講師は学科を三島光一郎氏（三島鉄筋建設）、実技を恵谷信氏（恵谷鉄筋）と川崎隆志氏（川崎組）、施工図作成を森山直樹氏（城東鉄筋）がそれぞれ担当しました。実技と学科の講習については来年1月15日と16日にも行われます。

なお本試験は施工図作成が来年1月16日、学科が1月23日、実技（組立）が2月11日と12日の二日間にわたり実施されます。施工図作成は1級57人、学科は1級84人、2級3人の合計87人、実技は1級103人、2級4人の合計107人が受検を予定しています。

